

**自分たちができることを実践しよう！「草原のごみ拾い」**

実施校：碧水小学校（阿蘇市）6年生

※H22年度モデル校プログラムより

**■実施概要**

碧水小学校の6年生は、5年生の秋から始めた草原環境学習の中で、阿蘇の草原が減っていること、このまま草原が減り続けると草原が持つ価値にも影響が及ぶことを学びました。

そこで、子どもたち自身が「草原を守るために自分たちにできること」は何かを考えて、いろいろ出てきたアイデアの中から、北外輪山の展望所周辺の草原に落ちたごみを拾う活動を行いました。あわせて、展望所からスケールの大きなカルデラの風景や、輪地の見学により、草原維持のための営みにも触れることができました。

&lt;実施日&gt; 平成22年11月19日(金)

&lt;実施時間&gt; 8:30~12:00(4コマ)

&lt;参加者&gt; 6年生(47人)、担任教諭

&lt;実施場所&gt; ①西湯浦の空地、②兜岩展望所、③大観峰

&lt;準備するもの&gt;

(子どもたち) 水筒、帽子、軍手、防寒具(風を通さないもの)、動きやすい靴  
(学校) 火挟み、カン拵み、救急箱  
(コーディネーター)、ゴミ袋、火挟み、  
双眼鏡

(協力者) 軽トラック(ごみ収集用)

&lt;コーディネーター&gt;

環境省 阿蘇自然環境事務所

&lt;協力&gt; 自然公園財団阿蘇支部

**■学習のねらい**

- ・草原を守るために自らができることに取り組む。
- ・自然環境や景観を守るために「ごみを捨てない」というマナーの大切さを実感する。
- ・故郷である阿蘇谷、それを囲む山々、そして草原の景観の美しさを感じる。

**■学習の流れ**

草原を守るために、自分たちが何かできるか考えてみよう！  
→アイデアだしと活動計画の作成(平成22年9月)

野外体験学習 -150分(3コマ)

**自分たちができることを実践しよう！**

11月19日(金) 8:30~12:00

- ①北外輪山・西湯浦の空地でごみ拾い(50分)
- ②北外輪山・兜岩展望所でごみ拾い(55分)
- ③大観峰で輪地の見学・ふりかえり(40分)

- 8:30 集合、今日の予定について説明  
→学校を出発(スクールバス2台)
- 9:25 西湯浦の空き地でごみ拾い活動
- 10:15 兜岩展望所へ移動
- 10:25 兜岩展望所でごみ拾い活動
- 10:40 大観峰へ移動
- 11:00 大観峰で活動(輪地見学、碧水小学校を探す、活動の感想)
- 11:40 大観峰を出発
- 12:10 碧水学校到着、終了

**学習したことを発表して、みんなに伝えよう！**

碧水フェスティバル：平成23年1月30日(日)

## ■実施の様子

### ◇西湯浦の空地と兜岩展望所でごみ拾い

- ・軽トラックいっぱい（60kg）のごみが集まりました。
- ＊ごみは自然公園財団阿蘇支部の軽トラックで収集し未来館へ持込み



### ◇大観峰では野焼きに欠かせない輪地（防火帯）を見学

- ・阿蘇谷を展望して望遠鏡で碧水小学校を探しました。



#### ◇子どもたちの感想

- ・弁当のカラなど生活ごみがあって驚いた。
- ・これ以上ごみを捨てたらいけない、山に行ったらごみを拾おうと思った。
- ・ごみがたくさんあって残念。これからはごみを見たら拾いたい。

## ■成果など

- ・子どもたちは積極的にごみ拾いの活動を行うことにより達成感を得るとともに、ごみの多さに対する疑問を感じ、マナーについて考えることができた。
- ・子どもたちの感想から、自然環境や景観を守るために「ごみを捨てない」というマナーの大切さを認識し、「ごみがあったら拾おう」という意識を持つことができたことがわかる。
- ・2ヶ所でごみ拾いと、草原や輪地の見学、各展望所からの雄大で美しい阿蘇の風景を目の当たりにして、みんなに自慢できるふるさと阿蘇を実感することができた。

#### ＊留意点＊

- ・活動する場所は、事前にごみの状況や安全性などを確認して決めましょう。また、活動場所の管理者（施設や牧野など）との事前調整が不可欠です。